

## 別添

# 名二環（名古屋南JCT～高針JCT）・国道302号 開通6ヶ月後の交通状況

### <目次>

事業概要図	.....1
高速道路の交通量	.....2
高速道路の混雑緩和	.....3
高速道路の定時性向上	.....4
空港バスの利便性・定時性の向上	.....5
一般道路の走行速度向上	.....6
一般道路の定時性向上	.....7
名古屋市外の方の声	.....8

# 事業概要図

開通6ヶ月後

名古屋環状2号線は名古屋市のほぼ外周部を通る直径約20km、全長約66kmの環状道路で、NEXCO中日本が建設を進めてきた高速道路である『名古屋第二環状自動車道（名二環）』と国土交通省が建設を進めてきた一般道路である『国道302号』で構成されています。

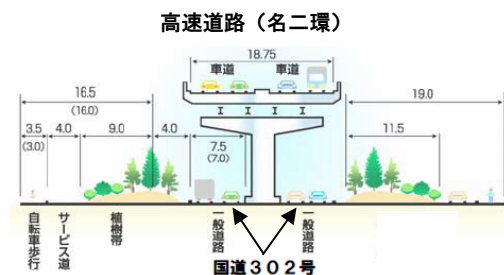
平成23年3月20日に、名二環（名古屋南JCT～高針JCT間）と、国道302号（市道平針中央線～都計道水主ヶ池線）が開通しています。

現在、国道302号では暫定2車線区間の4車線化工事を随時進めているところです。



名二環 開通区間

国道302号 開通区間



高架部 (単位:m)



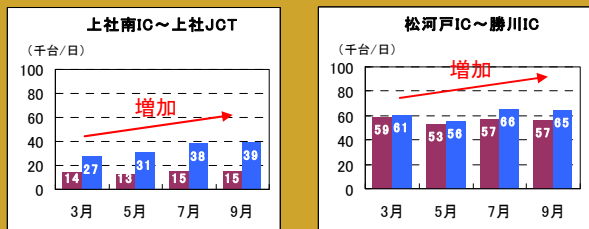
掘割部 (単位:m)

# 高速道路の交通量

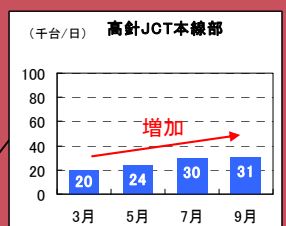
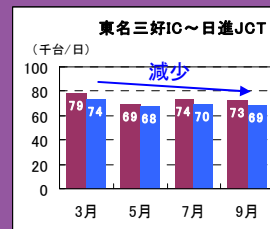
開通6ヶ月後

- 名二環（名古屋南JCT～高針JCT）の開通6ヶ月後の交通量は、約16,000～31,000台/日であり、開通直後と比べ約3～6割程度増加しています。
- 今回開通区間と並行する名古屋高速3号大高線においては、開通6ヶ月後の交通量が開通前と比べて約9,000～13,000台/日減少しています。
- 開通後の伸びはこれまでより緩やかになっていますが、これは名二環（名古屋南JCT～高針JCT）が開通から半年を経て、皆様に定着してきたことが原因と考えられます。

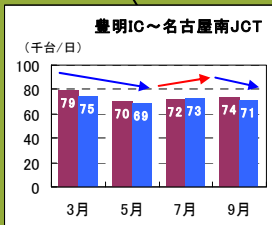
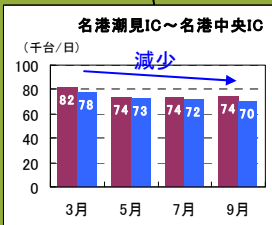
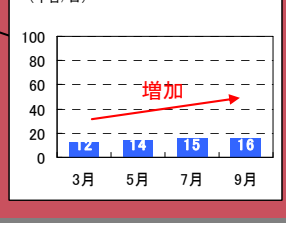
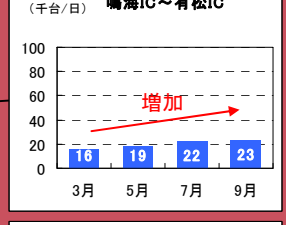
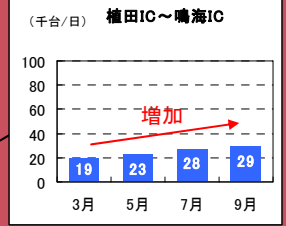
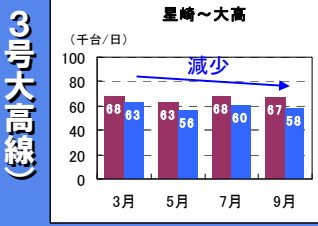
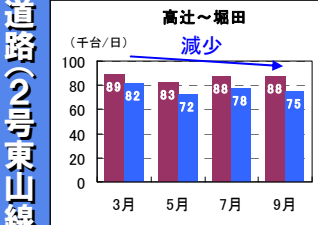
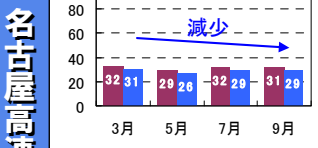
## 名古屋第二環状自動車道



## 東名高速道路



名古屋第二環状自動車道(今回開通区間)



## 伊勢湾岸自動車道

名二環開通前：平成22年3月21日（日）～平成22年9月20日（月）までの交通量を用いて集計  
 名二環開通後：平成23年3月21日（月）～平成23年9月20日（火）までの交通量を用いて集計  
 ※名二環・東名高速・伊勢湾岸はNEXCO中日本データ 調査時間帯(0:00～24:00)  
 ※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

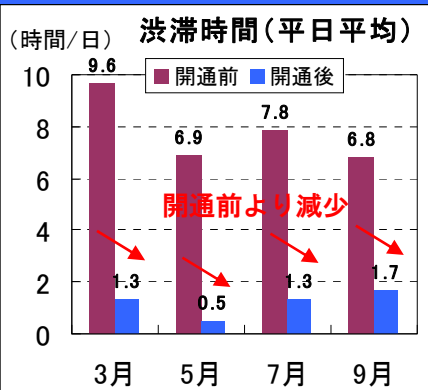
■：開通前の月平均日交通量  
 ■：開通後の月平均日交通量

# 高速道路の混雑緩和

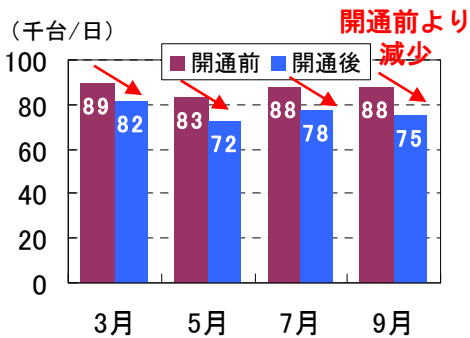
開通6ヶ月後

- 交通量の増減と同調し、名二環と並行する東名高速道路（名古屋IC～豊田JCT）及び名古屋高速3号大高線では1日当たりの延べ渋滞時間が開通前に比べ減少しています。
- 7月に比べ、9月の渋滞時間は増加していますが、9月上旬、中旬に中部地方を襲った台風12号、15号の影響も考えられます。

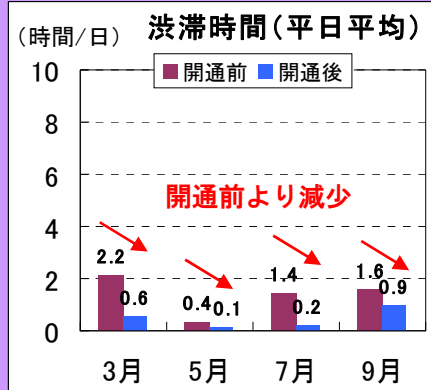
名古屋高速道路  
(3号大高線) 渋滞時間



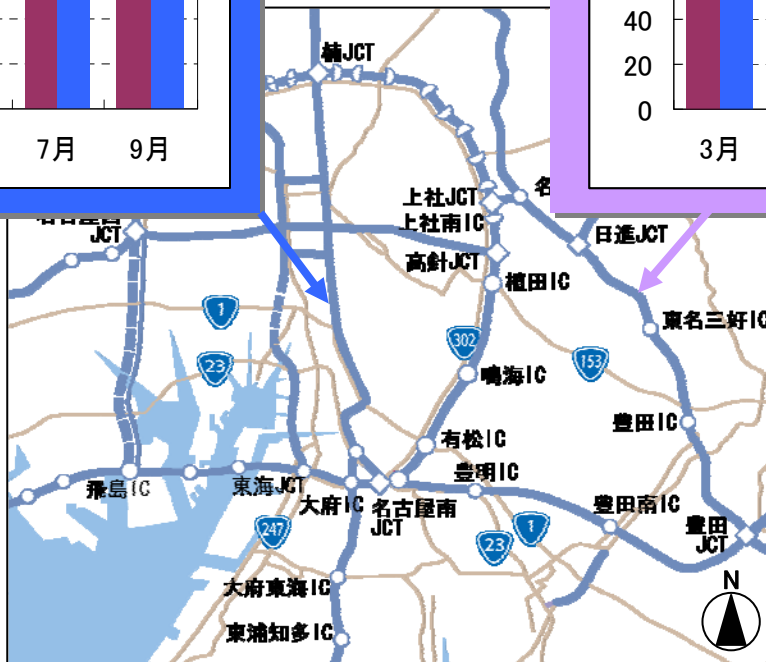
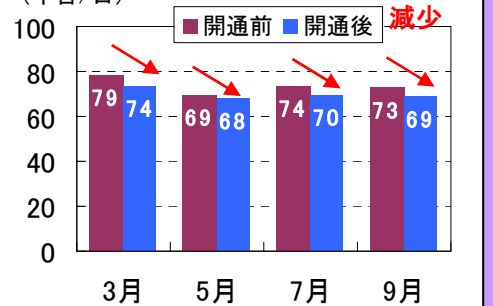
名高速(高辻～堀田)交通量



東名高速道路  
(名古屋IC～豊田JCT) 渋滞時間



東名(三好IC～日進JCT)  
交通量



開通前：2010/3/21～2010/9/20までの各月の平日平均渋滞時間、全日平均交通量  
 開通後：2011/3/21～2011/9/20までの各月の平日平均渋滞時間、全日平均交通量（渋滞時間は上り下り合計の平均値）  
 ※東名高速はNEXCO中日本データ 調査時間帯(0:00～24:00)  
 ※名古屋高速は名古屋高速道路公社データ 調査時間帯(7:00～7:00)

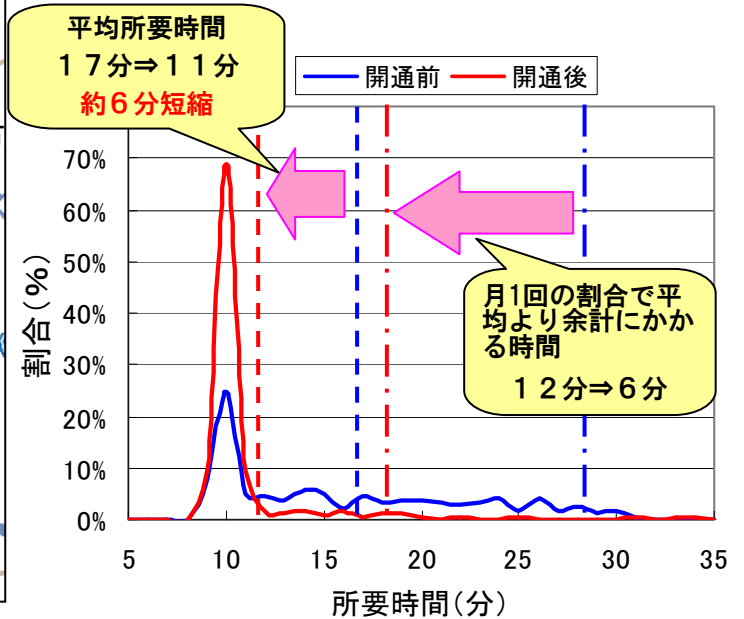
# 高速道路の定時性向上

開通6ヶ月後

●交通量・渋滞時間の減少により、名二環と並行する名古屋高速3号大高線（名古屋南JCT⇒鶴舞南JCT）間の定時性（時間信頼性）が向上しています。



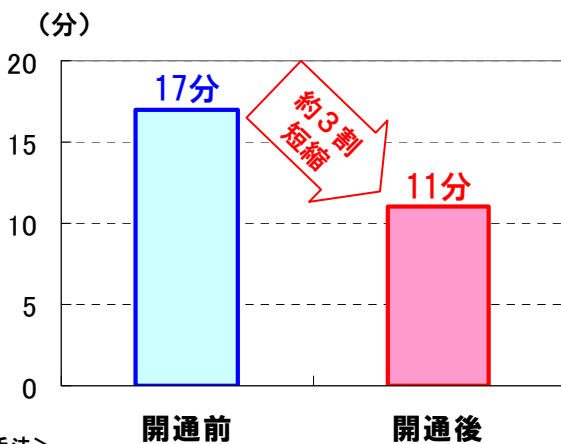
■名古屋高速3号大高線の所要時間の分布割合（名古屋南JCT⇒鶴舞南JCT（17時台））



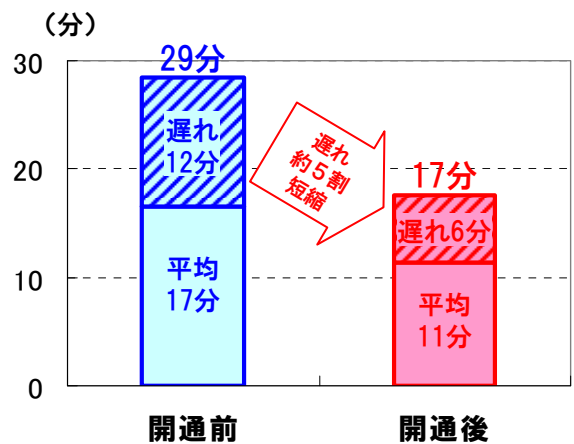
- 平均所要時間は17分から11分と6分短縮。
- 20回に1回（平日月1回程度）の割合で遭遇する、大きな渋滞時の所要時間も、29分から17分に12分短縮。その渋滞による遅れも、12分から6分に6分短縮。
- 渋滞に遭遇したときの遅れ時間も短縮され、3号大高線の時間信頼性が向上しています。

## （名古屋南JCT⇒鶴舞南JCT（17時台））

■平均所要時間（名古屋南JCT⇒鶴舞南JCT（17時台））



■20回に1回程度（平日月1回程度）遭遇するレベルの渋滞での所要時間と遅れ時間



<算出手法>

名古屋高速道路公社データによる開通前後の走行速度を用いて算出。

（開通前：平成22年4～6月（平日）、開通後：平成23年4～6月（平日））

■ ■ : 平均所要時間  
▨ ▨ : 20回に1回程度（平日 月1回程度）遭遇するレベルの渋滞での遅れ時間

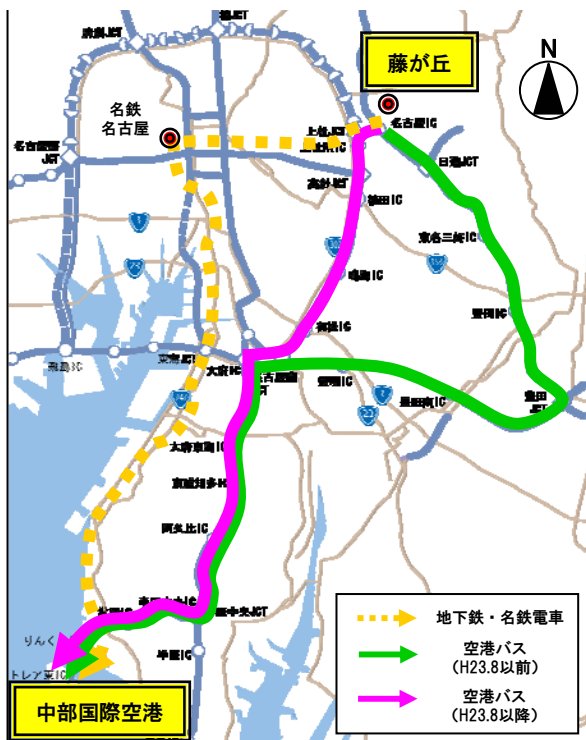
# 空港バスの利便性・定時性の向上

開通6ヶ月後

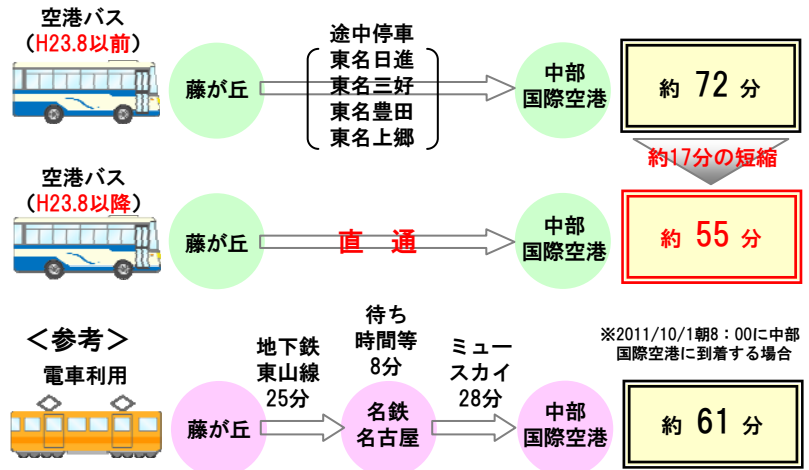
- 平成23年8月から、藤が丘発中部国際空港行の空港バスルートが東名・伊勢湾岸から名二環を利用するルートに変更されました。
- ルート変更後は所要時間が短縮され、遅れもなくなり利便性・定時性が向上しています。
- 迂回路の選択肢が増えました。これにより、事故等非常時の定時性も向上しています。

## ■空港バスの利便性・定時性向上

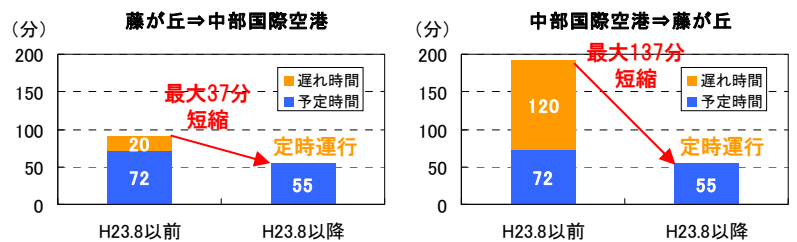
### ●藤が丘から中部国際空港までの交通アクセス



※名二環開通後ルートは平成23年8月から運行



### ●空港バスの最大遅れ時間



※最大遅れ時間はバス会社へのヒアリング結果による

### ■バス事業者のご意見

名二環を利用する経路に変更したことで**鉄道よりも早く中部国際空港に行ける**ようになりました。  
以前は豊田JCT付近の渋滞によりバスが遅れることもありましたが、**現在は定時運行ができています。**



## ■非常時における迂回路が増加



### 非常時における迂回路の選択肢が増加

名二環走行中に事故等が発生しても**国道302号を利用して迂回することが可能**

→ : 通常時のルート    → : 迂回路

※非常時における迂回路はバス会社へのヒアリング結果による

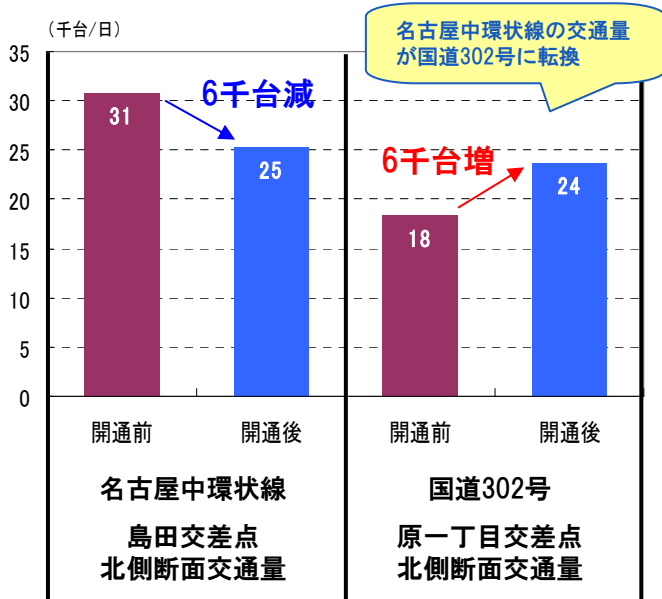
# 一般道路の走行速度向上

開通6ヶ月後

●国道302号の開通により、並行する名古屋中環状線（県道59号）等の交通が減少し、走りやすくなったため、走行速度は全体的に向上しています。

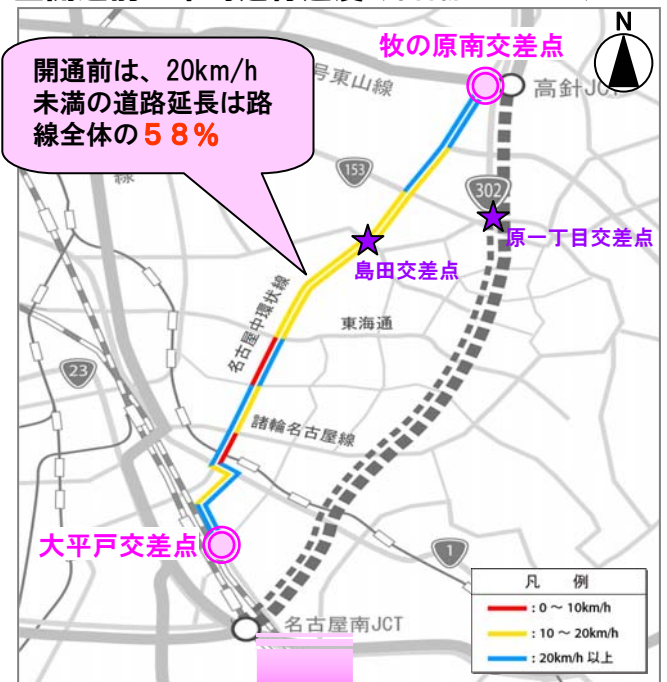
●名古屋中環状線等における『平均走行速度20km/h未満』の延長は約8割減少しています。

## ■開通前後の交通量調査結果

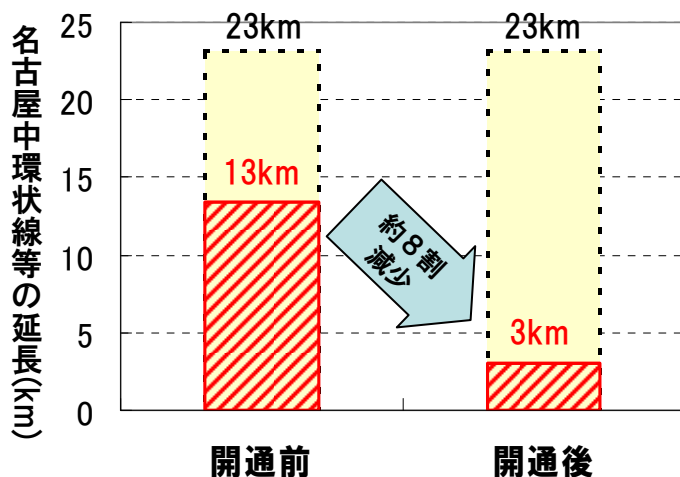


※交通量調査結果  
開通前：平成22年11月30日（平日）、開通後：平成23年4月20日（平日）

## ■開通前の平均走行速度（平日朝7:00~9:00）



## ■名古屋中環状線等（牧の原南~大平戸）における20km/h未満の道路延長の変化（平日朝7:00~9:00）



□：対象道路全線の延長 □：20km/h以下の延長

※延長は上り下りの合計

※牧の原南交差点~大平戸交差点を対象

（対象道路は名古屋中環状線、国道1号、名古屋碧南線）

※開通前と開通後の2時間（7:00~9:00）平均走行速度から算出

開通前：2010/6/1~2010/6/30の平日平均、開通後：2011/6/1~2011/6/30の平日平均

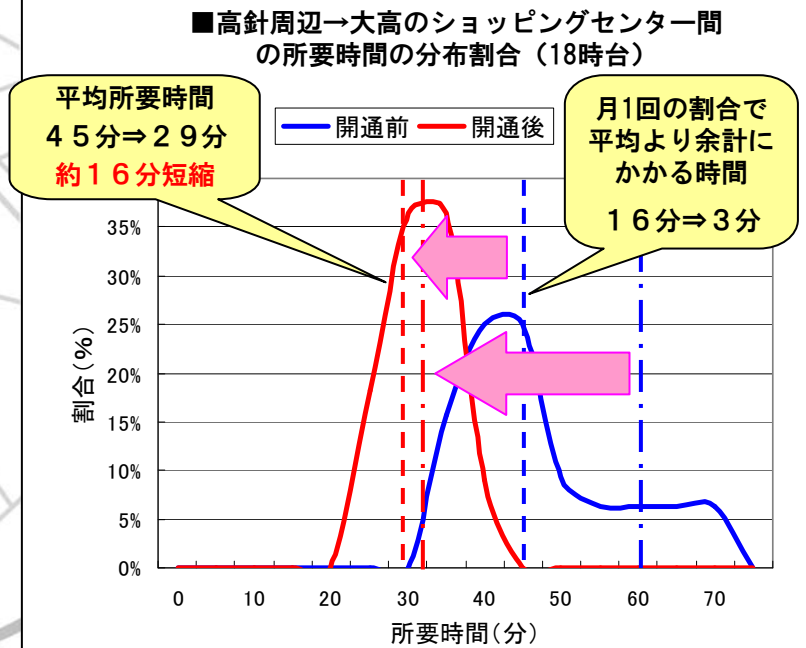
## ■開通後の平均走行速度（平日朝7:00~9:00）



# 一般道路の定時性向上

開通6ヶ月後

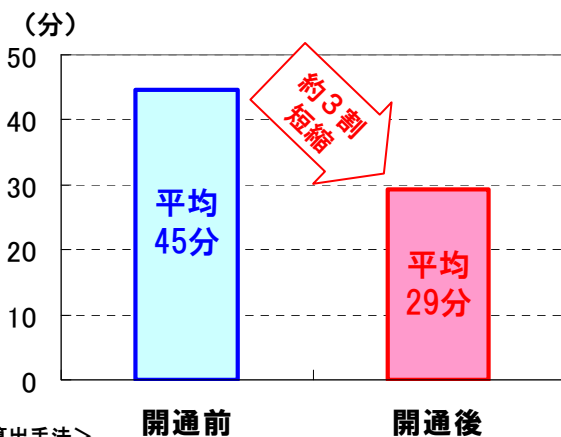
●交通量の減少と走行速度の向上により、国道302号と並行する名古屋中環状線を利用して、高針周辺から大高のショッピングセンターへ行く場合の定時性（時間信頼性）が向上しています。



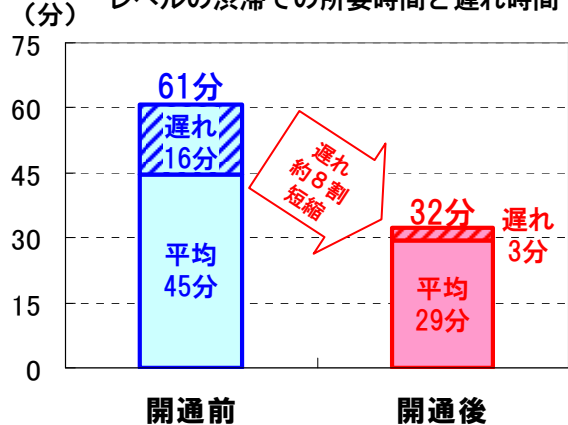
- 平均所要時間が45分から29分と16分の短縮。
- 20回に1回（平日月1回程度）の割合で遭遇する、大きな渋滞時の所要時間も、61分から32分に29分短縮。その渋滞による遅れも、16分から3分に13分の短縮。
- 渋滞遭遇時の遅れ時間も短縮され、名古屋中環状線の時間信頼性が向上しています。

## 高針周辺→大高のショッピングセンター（18時台）

■平均所要時間



■20回に1回程度（平日月1回程度）遭遇するレベルの渋滞での所要時間と遅れ時間



<算出手法>

民間プローブカーシステムのデータで取得した開通前後の走行速度を用いて算出。  
（開通前：平成22年4～6月（平日）、開通後：平成23年4～6月（平日））

□ □：平均所要時間

▨ ▨：20回に1回程度（平日 月1回程度）遭遇するレベルの渋滞での遅れ時間



# 名古屋市外の方の声

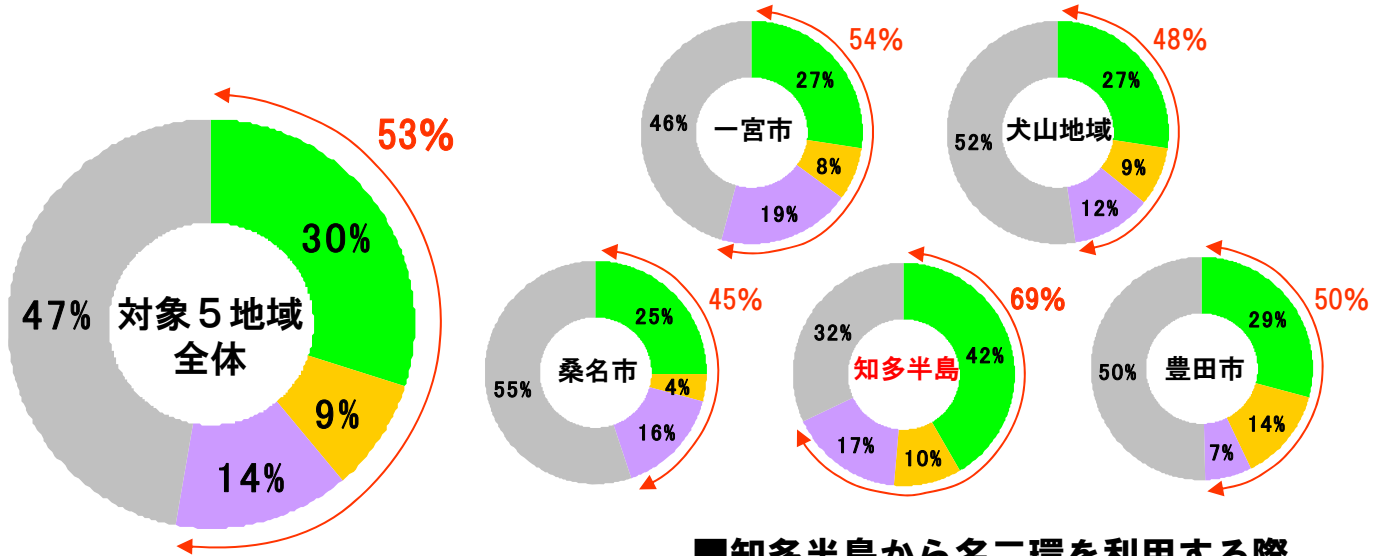
開通6ヶ月後

- 名古屋市周辺市町の皆様に名二環・国道302号に関するアンケートを行いました。
- その結果、開通後半年で、名古屋市外の方の約半数、特に知多半島方面では7割近い方に名二環及び国道302号をご利用頂いていることが分かりました。
- また、所要時間が短縮された、利便性が向上したといったご意見をいただきました。

## ■地域別の名二環・国道302号（東部東南部）利用状況

↔ : 名二環もしくは国道302号を利用された方の割合

■ : 名二環と国道302号を両方利用   ■ : 国道302号のみを利用   ■ : 名二環のみを利用   ■ : 両方利用していない



## ■知多半島から名二環を利用する際の主な目的地は「名古屋市内」



## ■利用者のご意見（抜粋）

### <良いと感じたところ>

- ・状況に応じて名二環と国道302号が使い分け出来るのが良い。(一宮市40代女性)
- ・三河方面や知多方面に行くのに名古屋市内を通過しなくて良い。(犬山市40代男性)
- ・中部国際空港に行くのに便利になった。(豊田市50代男性)
- ・名古屋北部に早く行けるようになった。(半田市40代男性)
- ・予定通りに到着できるのでスケジュールが組みやすくなった。(桑名市60代男性)

### <不満を感じたところ>

- ・分岐部の標識がわかりにくい。(半田市40代男性)
- ・名古屋南JCTで下りられないのが不満。(犬山市40代女性)

※インターネットによるアンケート調査により、モニター515名(5地域103名ずつ)に対して名二環及び国道302号の利用状況の調査を実施。

回答者居住地域：一宮市、犬山地域(犬山市・大口町・扶桑町)、豊田市、桑名市、知多半島(知多市・半田市・常滑市・東浦町・阿久比町・武豊町・美浜町・南知多町)

アンケート実施時期：平成23年9月下旬